

市立千葉高等学校が「N-E. X. T.（ネクスト）ハイスクール構想」の改革先導拠点に採択されました

千葉市では、文部科学省が令和8年2月に公表した「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）～2040年に向けた『N-E. X. T.（ネクスト）ハイスクール構想』～」に基づき、5月15日に千葉県を通して文部科学省へ市立千葉高等学校の改革先導拠点を申請しました。

このたび、当該申請が文部科学省において採択されましたので、お知らせします。

今後、千葉県と連携のうえ、市立千葉高等学校での実践を進め、高校教育改革を推進してまいります。

1 制度概要

グランドデザインで示された類型に応じて、都道府県の人材育成上の課題等を踏まえ、教育改革を先導する拠点校の取り組みを国が支援するもの。

- ・1都道府県当たり上限約62億円（国費10/10）を交付。
- ・事業期間は令和8年度から10年度まで。
- ・令和8年5月15日に申請した取り組みについて、外部有識者で構成される審査委員会の審査を経て、文部科学省から6月30日、採択結果が発表された。

グランドデザインの詳細は文部科学省ホームページをご参照ください。

【URL】https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/1358056_00005.htm



2 採択内容

（1）学校名

市立千葉高等学校

（2）改革先導拠点類型

理数系人材育成支援

※文理の双方の素養を有する人材の育成等を実現するため、探究・文理横断・実践的な学びを重視し、地域の高等教育機関との連携・協働の強化等による理数系教育に重点を置いた学科等のパイロットケースとして、未来を担う理数系人材育成の取り組みを早期に実現し、域内の教育改革を先導する学校

（3）文部科学省に申請した主な内容

「科学的探究教育モデルによる理数人材育成ネットワーク創出」

科学的探究を核に、データサイエンスを活用し、文理を超えた高度な課題解決力を有する「Thinker」型理数系人材の育成

- ・科学的探究プログラムによる普通科尖鋭化
- ・実社会と接続する産学と連携した探究教育ネットワーク
- ・発表、配信、研究機能を備えた NEXUS HALL の整備 等

（4）国交付上限額

11.1億円（令和8～10年度事業費）